

ようやくかかった。

バンクーバー 2010 パラリンピック日本代表 10kmクラシカル、1kmスプリント 金メダリスト **新田佳浩選手 凱旋!**

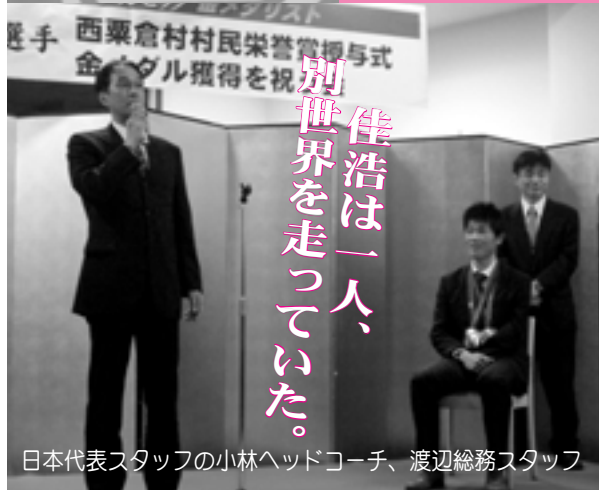
バンクーバーパラリンピック2種目で優勝し、見事金メダル2つを獲得した新田佳浩選手が帰郷しました。

西栗倉村では、この快挙に村で初めてとなる「西栗倉村民栄誉賞」の授与式（金メダル獲得を祝う会）を4月10日 土曜日 あわくら旬の里で行いました。新田選手、ご家族を始め、日本代表スタッフのお二人、恩師の方々、同級生など村内外から約300名が集まり、金メダル獲得をお祝いしました。恩師の先生方からは、小中学校時代の新田選手が頑張っていた姿、先生やご家族が障害とどの様に向き合っていたかなどお話しいただきました。

日本代表スタッフのお二人からは、新田選手にチーム一丸となって金メダルを取らせようとしていたこと、テレビで見た以上に新田選手の滑りは群を抜いてすごかった事など聞かせていただきました。

村内からは、あわくら太鼓の演奏や小中学生からのメッセージを渡し、子ども達もこの快挙をお祝いしました。

新田選手の周りには、常に取材陣やお祝いに訪れた方々の輪が生まれ、子どもから大人まで、新田選手、金メダルに触れることができ、笑顔があふれる祝う会になりました。



別佳浩は一人、
別世界を走っていた。

日本代表スタッフの小林ヘッドコーチ、渡辺総務スタッフ



ようやくやった!
ほめちやる!

恩師の方々からのメッセージ



自分の滑り、自分の納得できる滑りを目指して、
また一から頑張っていきたい

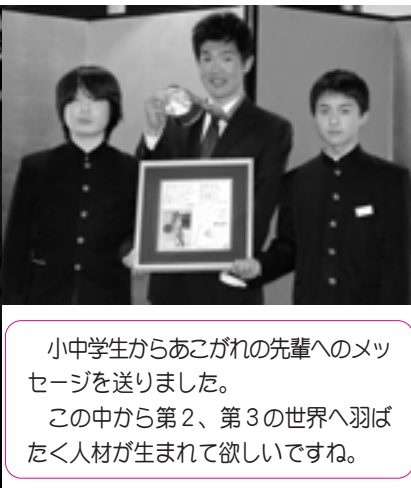
本当に12年越しの思いが



メダリストを落とすなよ～。
同級生のみなさんによる胴上げです。



元気と感動を与えてくれてありがとう。
新田選手の金メダルはわたし達村民の誇りです。



小中学生からあこがれの先輩へのメッ
セージを送りました。
この中から第2、第3の世界へ羽ば
たく人材が生まれて欲しいですね。



西粟倉村村民栄誉賞の授与

新田佳浩選手からのメッセージ

今回のバンクーバーパラリンピックでは、西粟倉村のみなさんに良い報告ができて本当によかったです。

昨年12月に祖母が他界し、すぐに帰省することはできなかったのですが、今大会の代表発表のタイミングも重なり、西粟倉の多くの方から「よっちゃん、頑張っ
てね!!」「応援しているよ!!」と声をかけて頂きました。祖母も生前「西粟倉のこと、応援してくれる多くの方を忘れてはいけない。」とよく言っていました。それは、祖母の最後のメッセージだったと思います。

そのように思うことができたからこそ、2つの金メダルを獲得することができたと思います。

4年後のソチに向けての闘いは、もう始まっています。結果はどうなるかわかりませんが、様々な方の思いを忘れることなく、滑り切ることができれば、必ず結果はついてくると思います。それまで、西粟倉のみなさんをはじめ、多くの方の声援・応援が私の力になります。今後とも、よろしくお願いします。

生でおじいちゃん
への金メダル見せて
もらいました。感動
の瞬間です。



奥さん、お父さん、お母さん、お祖父さん、お祖母さん
ご家族のみなさんでつかんだ金メダル。
本当におめでとうございます。